

第58期

中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

食卓を彩る
美しい、日本の容器



株式会社エフピコ

証券コード：7947



Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）に配慮した経営を推進し、事業活動を通じて、社会的価値と経済的価値の創造に努めてまいります。

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り誠に有難うございます。当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題が大きくクローズアップされています。私どもはこれらを重要な課題として認識し、全社一丸となってエフピコ方式のリサイクルに取り組み、環境に配慮した製品づくりを進めております。

また、多くの食品小売業が抱える慢性的な人手不足問題に対応し、テープ留めしなくても汁漏れやふた開きがない安心容器やカセット式のオードブル容器、セットメニュー容器などが高い評価をいただいております。

さらに今後、消費税増税に伴う軽減税率制度によって、テイクアウトやデリバリー市場の拡大が予想されます。こうした市場の変化に対応するため、包装資材のECサイト「パックマーケット」を開設し小口顧客への販売を強化するとともに、デリバリー大手との協業による専用容器の開発、病院・介護施設での特別メニュー用の容器の開発など、新しい事業領域の開拓にも注力しております。

時代のニーズをしっかりと見据え、「原点」をテーマに、「現場主義」「顧客第一主義」を徹底し、引き続き、もっとも高品質で環境に配慮した製品を、どこよりも競争力のある価格で、必要なときに確実にお届けしてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エフピコは国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に沿って、地球環境への配慮を意識した事業活動を行ってまいります。



代表取締役社長 佐藤守正

連結業績ハイライト

当第2四半期連結累計期間の売上高は当社オリジナル製品の売上、特に消費者の環境意識の高まりからエコトレーなど環境配慮製品の需要が拡大したことなどを背景に、929億1千万円となり、前年同期に比べ33億24百万円の増収(前年同期比103.7%)、過去最高となりました。

利益面におきましては、前連結会計年度に実施した価格改定の影響、当社オリジナル製品や新製品の販売が好調に推移した一方で、人件費や物流費等のコストが増加いたしました。その結果、営業利益は、前年同期に比べ9億34百万円の増益となる70億94百万円(前年同期比115.2%)、経常利益は、前年同期に比べ9億62百万円の増益となる74億45百万円(前年同期比114.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、48億42百万円(前年同期比111.4%)となりました。

当中間期の配当につきましては、1株につき40円とさせていただきます。

1株当たり配当金

中間40円 配当
(前年中間40円)

営業利益

70.94億円
(前年同期比115.2%)

経常利益

74.45億円
(前年同期比114.8%)

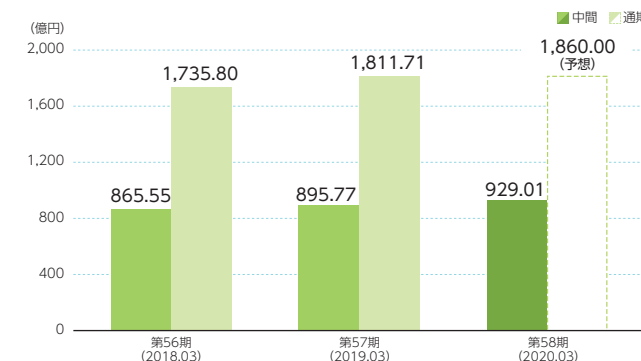
親会社株主に帰属する四半期純利益

48.42億円
(前年同期比111.4%)

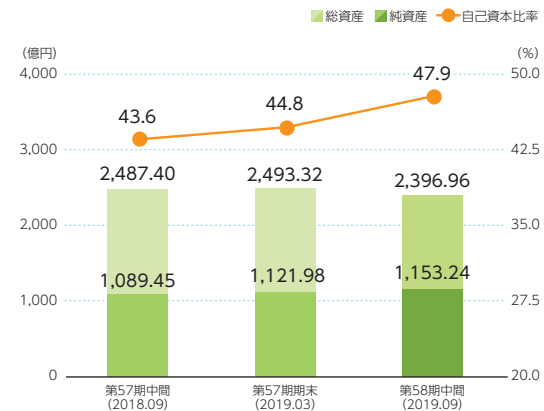
売上高

929.01 億円

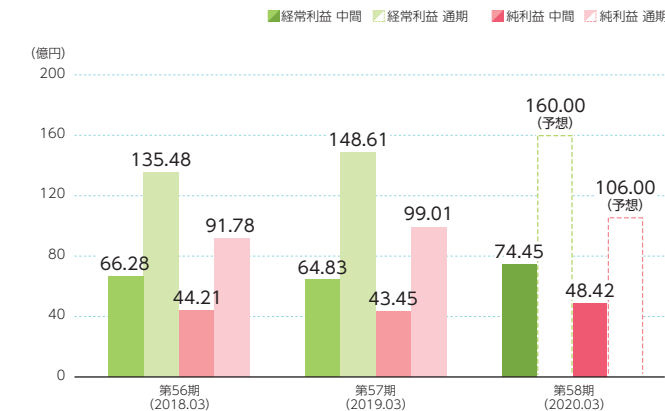
(前年同期比103.7%)



◆総資産／純資産／自己資本比率



◆経常利益／純利益






🌐 持続可能な社会を実現するために

海洋プラスチックごみ問題に対応した持続可能な社会を実現するために、消費者の皆さまのご協力をいただきながらリサイクルの輪を広げるとともに、環境に配慮した製品づくりを進めております。

▶ 皆さまのご協力がリサイクルのスタートです

私たちは使用済みトレーやPETボトルを資源であると考えております。皆さまが回収ボックスにトレーを持ってくることで、効率的で無駄のないリサイクルが可能となります。日頃のご協力に心から感謝いたします。






エコトレー

CO₂排出量

30%削減

※当社バージョン製品とエコ製品の比較(1kgあたり)



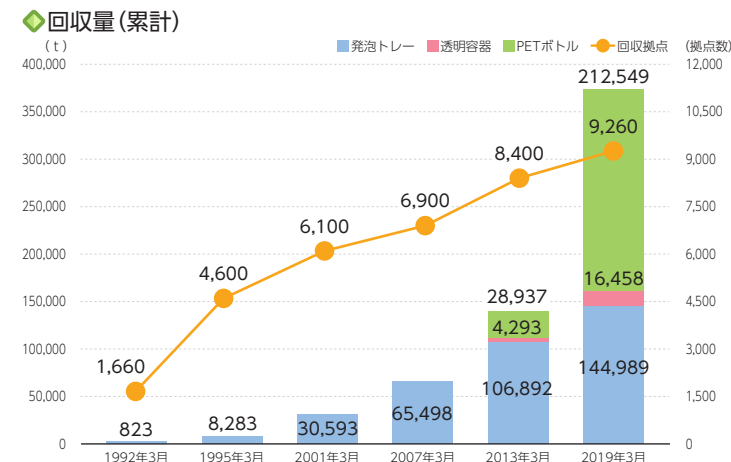
エコPET



私たちの考えをお伝えするためにタレントのLiLiCoさんを起用したポスターを作成いたしました。スーパーマーケット様にご協力いただき、店内に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。

▶ これまでのリサイクル事業の成果

1990年、6か所の回収拠点からスタートしたエフピコ方式のリサイクル。皆さまにご協力いただいた結果、今では回収拠点が全国で9,200か所を超え、回収量は累計で37万トンを超えるまでになりました。これまでに回収した使用済みトレーやPETボトルをリサイクルし、トレーの原料にすることで原材料となる原油を約6億9,874万リットル節約した計算になります。さらに回収して資源とすることでゴミ処理にかかる費用の軽減にも繋がっています。



資源に生まれ変わる様子をぜひご覧ください

全国3か所のリサイクル工場及び6か所の選別センターで工場見学ツアーを行っており、毎年約2万人の方々に参加いただいております。お一人様からでも見学は可能です。ぜひお越しください。

工場見学の申し込み受付 見学受入日時:月～金(祝日を除く) 9:00～16:00 (一部施設を除く) 詳しくは当社ホームページ: <https://www.fpco.jp/>にて



お近くにリサイクル工場・選別センターがない方には… 臨場感ある動画でリサイクルをご体感ください

いつでもどこでもスマートフォンやタブレットからリサイクルを体感していただけるようにエフピコのリサイクル動画を作成いたしました。Q&A形式で分かりやすくまとめております。右のQRコードからぜひご覧ください。





「生から惣菜」拡大の決め手はマルチFP容器です

「生から惣菜」は生の素材をエフピコ独自の耐熱容器に入れてレンジで温めるだけで出来上がります。

「生から惣菜」の特長

美味しい

生素材をレンジへそのまま食べる直前に完成
再加熱より生から加熱の方がシャキシャキして美味しい

栄養

レンジだから素材が持つ栄養の残存率が高い
例えばキャベツは「ゆで」「蒸し」より甘くなります

簡単

調理や洗い物の手間いらず
耐熱容器なのでそのままレンジで温めるだけ

安全

火を使わずレンジ仕上げ
小さいお子さまやシニア層にも安心安全

持っても熱くない!マルチFP容器



断熱性

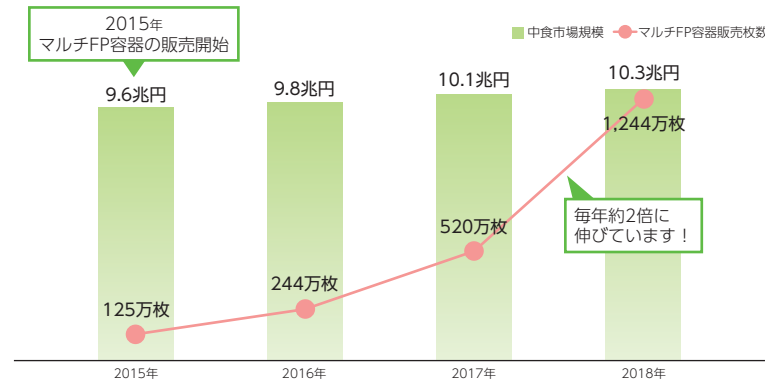
加熱直後に手で持っても熱くない

保温性

冷めにくいから美味しく食べられる

▶ 中食市場の拡大とともにマルチFP容器の出荷も伸びています

働く女性や単身世帯の増加、高齢化などに伴い、食品の消費形態も「調理」から惣菜や弁当などの「中食」に変化してきています。こうした「中食」でも、作り立て、出来立ての美味しさをお届けできるのが『エフピコ』のマルチFP容器です。



生から惣菜

テレビ番組で紹介されました (2019年3月~9月放送分)
たけしのニッポンのミカタ! (テレビ東京)、ヒルナンデス! (日本テレビ)、バリはやっ!ZIP (FBS福岡放送)、ウラマヨ! (関西テレビ)、Nスタ (TBS)、あさイチ (NHK)、めざましテレビ (フジテレビ)

SDGs (持続可能な開発目標) の実現に向けた当社の取り組みに対し多くのご評価をいただきました。

「G20イノベーション展」への展示企業として選出されました

(2019年6月)



海洋プラスチックごみ問題に取り組む日本の代表企業の一社として選出され出展いたしました。リサイクルの取り組みやCO₂の削減実績などに大きな注目が集まりました。



展示内容

「G20イノベーション展」とは
G20「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」に合わせて開催された、環境問題に対する日本の取り組み内容を紹介する展示会

ESG投資指標「FTSE4Good Index Series」及び「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定されました

(2019年6月)

FTSE4Good



世界の1034社の中にエフピコが選定されました

FTSE Blossom Japan



日本の179社の中にエフピコが選定されました

リサイクル事業の構築、障がい者雇用に加え、SCMや人権に関する取り組みの強化並びに情報開示の充実化等でご評価いただきました。

「FTSE4Good Index Series」、「FTSE Blossom Japan Index」とは
ロンドン証券取引所グループの「FTSE Russell」が開発した、環境・社会・企業統治(ESG)に対して優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを反映するインデックス

第1回「The Japan Times Satoyama & ESGアワード2019」ESG部門優秀賞に選ばれました

(2019年9月)



環境に配慮したリサイクル事業を広く普及させた実績や、障がい者への雇用機会の提供に注力している点をご評価いただき、選出されました。

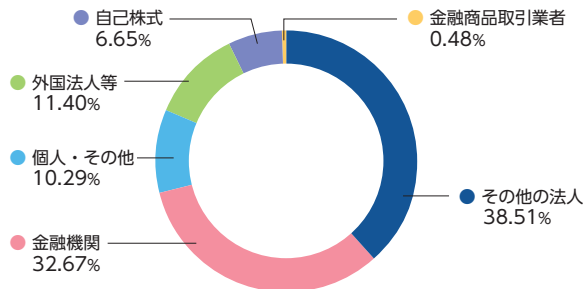


受賞式

◆ 会社の概況 (2019年9月30日現在)

社 名 株式会社エフピコ
FP CORPORATION
福 山 本 社 〒721-8607
広島県福山市曙町一丁目13番15号
TEL 084-953-1145 (代表)
東 京 本 社 〒163-6036
東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
新宿オークタワー36F
TEL 03-5320-0717 (代表)
設 立 1962年7月24日
資 本 金 13,150,625,630円

◆ 株式分布状況 (2019年9月30日現在)



◆ 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 120,000,000株
発行済株式の総数 44,284,212株
株主数 3,610名

◆ 大株主の状況 (上位10名) (2019年9月30日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社小松安弘興産	14,339	34.69
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,576	6.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,066	5.00
積水化成工業株式会社	1,732	4.19
株式会社西日本シティ銀行	880	2.13
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	825	2.00
エフピコ共栄会	791	1.91
日本トラスティサービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	762	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託積水化成工業口)	600	1.45
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 (常任代理人香港上海銀行東京支店)	554	1.34

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式数(2,944,363株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所 株式会社東京証券取引所

公告の方法 電子公告
公告掲載URL <https://www.fpco.jp/>
(ただし、電子公告によることができない
事故、その他やむを得ない事由が生じたこ
きは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。